



算数・数学につながる数の指導④

今回のテーマは、『加法の計算について』です！

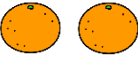


加法を理解し、その計算を習熟することは、減法、乗法、除法の基礎になります。

計算の結果は、正否が明確であり、達成感を持ちやすいことから意欲、自信を育てることができますが、失敗が続くと挫折感を持ちやすく、学習意欲が著しく低下するため、正答を得るよう課題を準備しましょう！！

加法の意味を知ろう！！

① まずは、合わせるのが『たしざん』ということを知りましょう！

具体物から始めよう！



 2個と1個 を 合わせると
 

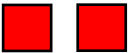

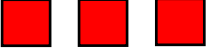
 みかんが2個 みかんが1個 みかんが3個

このとき、同じ物同士を合わせるようにしましょう！



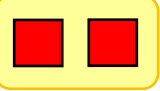


バナナ2個  りんご1個 
あわせて？ では、理解し難いです。

次は、半具体物を用いた学習に進みます。



 を 合わせると
 

そして、数式を用います。



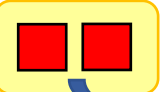
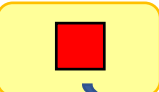


 +
 
 =
 

② 数式の学習 「半具体物」から「数字」へ進めていきましょう！

被加数の2個と加数の1個を通して数えて「3」を求め、答えの場所に半具体物3個を置きます。

「2たす1は3」と読みます。半具体物を操作することで、「+と=」の意味（右と左が同じ）を理解します。

2 たす 1 は 3


 +
 
 =
 

数式を理解していく上で、...

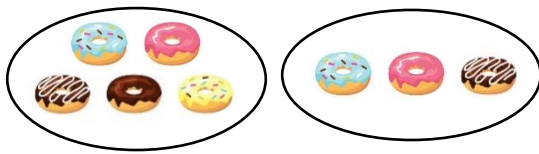
具体的事象を数式に表せること、

またその反対の数式を具体的事象で説明できることが大切です。

合併

⇒同時に存在する2つの数量を合わせた大きさを求める。

「○と△を合わせると□になる」



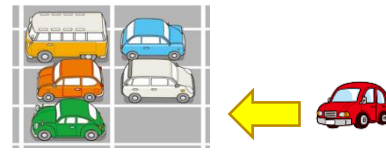
5個

3個

増加

⇒初めにある数量に追加したり、それから増加した時の大きさを求める。

「○に△がふえると□になる」



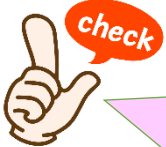
5台

1台

これらのいずれもが

$$\text{「}\bigcirc + \triangle = \square\text{」}$$

となることの理解の学習を十分に行う必要があります!!!



プリント学習が先行すると、加法か減法かを判断することが困難になります。つまり、文章題の理解の困難の原因の一つになります。具体物、半具体物进行操作しながら、『加法』をスモールステップで学習していきましょう!!

※連載講座「算数・数学につながる数の指導」筑波大学人間系教授 川間健之介 より



新型コロナウイルス感染症まん延に伴い、体験学習、巡回相談等延期、中止の判断をさせていただきます。もし相談等ありましたら、電話等でもお受けいたします。下記教育支援部までご連絡ください。

きのかわ支援学校 教育支援部 寺尾 朝井

TEL:0736-42-0415

E-Mail:kinokawa.shien@wakayama.c.jp